

文章番号	全体-36
版番号	初版
制定日	R5.3.24
改正日	R5.3.24

# 令和5年度 事業計画書

社会福祉法人総合施設  
美吉野園

承認	確認	作成
		
R5.3.24	R5.3.10	R5.3.1

# 【法人の部】

## 1. 基本理念

# 社会福祉法人 総合施設美吉野園

## 品質方針

総合的な福祉サービスの質向上活動の展開により、ご利用者様・ご家族の期待とニーズに応える福祉サービスを実施するために、社会福祉法人総合施設美吉野園の経営理念を品質方針として定める。

### 基本理念

◇ご利用者に安らぎと幸せを  
◇職員は真心と向上を

#### 法人指針

- 目指すもの
  - \*社会貢献、地域貢献
  - \*より良き運営
  - \*グローバルな感覚
- 大切にすること
  - \*職員 多様性を尊重し、成長を支援します。
  - \*ご利用者 かけがえのないパートナーになります。家族意識を持って親切に誠意を尽くします。
  - \*サービス技術 常にスキルアップを目指します。
  - \*サービス品質 常に向上を目指します。

#### 行動指針

- 常に社会環境に目を向け、良き社会人として行動します。
- ご利用者の立場に立って誠意を尽くします。
- 現場、現実を直視し、ご利用者の安全を守ります。
- チャレンジ 高い目標を掲げ、達成に向けて粘り強く行動します。
- スピード対応 目標に向かって迅速に、臨機応変に行動します。  
連絡は素早く、報・連・相を大切に。
- チームワークを大切 組織を超えて目的を共有します。

#### 行動規範

- 人権尊重
- 法令遵守
- 公平・公正
- 機密の保持
- 権限・責任一致の原則
- 業務上の立場を私的に利用しません。

#### 事業方針

- 自己革新により、ご利用者により良いサービスを提供します。
- ソリューション（解決力）を高め、地域コミュニティーを大切にします。
- 各セクション連携を深め、地域に密着した事業展開を行います。

## 2. 基本的な考え方

厚生労働省は、コロナ禍からの経済社会活動の回復を見据え、国民の命・雇用・暮らしを守る万全の対応を行うとともに、全世代型社会保障の構築を推進し、未来を切り開く「新しい資本主義」を実現することにより、国民一人ひとりが豊かさを実感できる社会を構築することを目的に編成されています。Ⅰ. コロナ禍からの経済社会活動の回復を支える保健・医療・介護の構築、Ⅱ. 成長と分配の好循環に向けた「人への投資」、Ⅲ. 安心できる暮らしと包摂社会の実現が重点事項となっています。

法人は、これまでの歴史と現在の世相状況を改めて見つめ直し、人口減少と高齢化が進展し、コロナ禍の終息が見えない中、地域に密着した選ばれる法人へと成長し続け、ウイズコロナ、ポストコロナにもタイムリーに対応し続けた結果が今であり、これを継続し続けるとともに、さらなる進化を目指さなければならない。

今期以降、新たな事業展開を進めるため、まずは現有の職員がそれぞれの能力を発揮し、エンゲージメント（個人と組織が一体となり、双方の成長に貢献しあう関係法人に対する愛着心）を高めながら活躍できる法人となり、ついては、組織と職員の成長と拡大の好循環がなされ、だれ一人取り残すことのない目配りの効いた法人運営により定着を図る。

また、デジタル・デバインド（インターネットやコンピューターを使える人と使えない人との間に生じる格差）を解消した IT の積極的な活用。デジタル、働き方、人材育成の在り方など、多様性と変化に柔軟な対応を行い、レジリエント（困難な状況にも適応して生き延びる力）を持った将来的に向けた人材を育成し、やりがいと利用者サービスを高められる働き方改革を後押しする。結果、サービス活動収支が安定的に黒字化された法人運営を継続していく。

これを 2048 年（創立 100 周年）へ向けた節目のスタートとしたい。

## 3. 基本方針

少子高齢化の進展、あるいはコロナの影響もあり様々な社会課題が生じている。

これまでは高齢者が増え続ける状況にあったが、いわゆる団塊世代の方々が、後期高齢者となる時期に入り、高齢者数の伸びもあるが、いわゆる生産年齢人口が急激に減少してくることが一つの特徴であると認識している。

地域の方々がお互いを支え合って、地域を創っていく、まさに地域共生社会になるわけであり、その中心にいるのが社会福祉法人だと思う。経験や専門性、地域における繋がりを基盤として、そして今生じる新たな社会活動にも対応していかなければならない。

地域の実情に応じ、「多角化・多機能化」という型で事業展開を進め、施設の価値向上のため、ご利用者に幸せを届けられるように継続した取り組みを行い、100 周年に向け自らが模索して長期目標を掲げ、頂点を目指す。

**長期ビジョン** 『M 's welfare』<sup>※1</sup>

**Key word** 「スマイル」

**【必要な重点目標】** ・人材力（チャレンジする、多様性に柔軟対応する人財）の育成・強化  
・各セクションの連携強化・深化

<sup>※1</sup>（目標は職員が模索していくことによって頂上が見える。山を極めるよう。）

長期ビジョン、エムズウェルフェアと名付けましょう。

M 's welfare（創立 100 周年 2048 年に向けて私達のありたい姿を想像しましょう。理想を求めましょう。夢を持ちましょう。）

- ・ ICT化の取り組み、介護現場における活用促進
- ・ 地域創造（町(まち)、人(ひと)、仕事(しごと)）に携る問題解決力の推進

#### 4. 事業の重点事項

##### (1) 人づくり（人財確保・定着・育成）

- ・ 新人事考課制度のさらなる深化（職員自らの内発的な動機による目標の設定と、目的達成に対する努力を最大限支援することを基軸とした人事考課制度）
- ・ 公平そして納得できる評価実施による職員のモチベーションアップへの転嫁
- ・ 幅広い領域から、福祉分野で活躍できる「優秀な人材」を採用する競争力のアップ
- ・ 職員の自主性を尊重したマネジメント、制度の理解への教育
- ・ アセッサーの育成、キャリア段位レベルの認定者の育成
- ・ マネジメント研修(ガバナンスの強化)
- ・ 女性の活躍推進（えるぼし認定）
- ・ 特定技能実習生の受入れ

##### (2) ウイズコロナ・ポストコロナへの対応

- ・ オンライン対応の進化（リモート面会、会議、連絡）
- ・ 働き方改革（時間管理）、（出退勤及び残業時間管理）
- ・ ITの積極的な活用

##### (3) 環境への配慮

- ・ グリーン社会の実現に向けた無駄の排除（食事、エネルギー、紙）
- ・ SDGsの積極的推進

##### (4) 防災・減災への対応

- ・ 感染対策、自然災害対策BCPの進化

##### (5) 地域及び関係機関との連携

- ・ コロナ禍により深刻なダメージを受けた、孤独・孤立を背景とするさまざまな地域生活課題を抱える人たちに対し、福祉分野及び福祉分野外の、公私のさまざまな機関と連携・協働

##### (6) 改正障害者雇用促進法への対応

- ・ 障害者雇用率が現在の2.3%から段階的に（2024年4月に2.5%、2026年7月に2.7%）引き上げへの対応

##### (7) 将来構想

- ・ 2025年（令和7年）を目途に、地域包括ケアシステムの構築を推進しており、中心的な役割を担える組織の強化
- ・ 「医療・福祉の生産性向上」を図り、24時間365日サービス提供を目指す看護小規模多機能型居宅介護<sup>※2</sup>立ち上げ

---

※2 要介護状態となった場合においても、利用者が可能な限り居宅において、利用者自身が持っている能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、その療養生活を支援し心身の機能の維持回復及び生活機能の維持又は向上を目指すサービス

## 5. 事業内容

### (1) 美吉野園老人寮入所定員変更について

措置制度が社会福祉基礎構造改革によって大きく舵を切られて、30年余り。しかし、福祉制度の中には保険に馴染まない幾つかの分野において措置の仕組みが残っており、養護老人ホーム老人寮もその一つである。

現在養護老人ホームが抱えている課題は、「措置がされない」事であり、奈良県においては、令和4年8月では、定員数795名に対して現員数626名と78.7%に低下し、さらに他府県からの措置者の受入れ人数は全国で一番高く、平成30年度184名だったのが、令和3年度は228名という状況である。

今後、地域共生社会、地域包括ケア（他の社会資源）から抜け落ちてしまう高齢者の拠り所また、シェルター機能を有するセーフティネットの強化を図る。

このことにより、定員110名を80名とし、削減した定員数を地域福祉の拠点となる整備を図る。

### (2) 美吉野園特養寮入所定員変更について

奈良県における高齢化率は令和3年度32.3%（令和7年度33.2%、令和12年度34.8%）、大淀町においては35.6%（吉野郡平均43.6%）（令和7年度37.8%）で、南和圏域においては少子高齢化が加速する。

また、短期入所生活介護の利用率は令和4年度27.7%と低く、独居高齢者世帯、高齢者夫婦世帯が多いことにより、今後も施設入所希望の増加が見込まれる。

このことにより、入所定員を160名から170名とし、短期入所生活介護を20名から10名と変更し、待機者数の解消に努める。

### (3) 重症心身障害児者・医療的ケア児者の地域支援体制の構築への参画

重心児者等が短な地域で生活していくために必要な社会資源（医療・保健・福祉）が県全体で不足しており、特に県南部・東部地域ではよりその傾向が強い。

この事により、今ある社会資源を地域で有効活用できるよう調整を行う地域相談窓口等の仕組みを作り、取り組みを通じ、要請された医療的ケア児等コーディネートの情報共有及び県と市町村、関係機関が連携体制へ参画し、出生後入院していた病院、NICU等から退院後、地域に移行する際に、医療から福祉へ切れ目ない支援体制を図る。

(4) 防災設備更新（美吉野園・大淀園）

経年劣化している防災設備を更新することで、万が一の火災や災害等に備え、ご利用者が安心して生活していただける環境を整える。

（美吉野園）

内容	数量	費用
美吉野園火災通報設備	1 式	380,600 円
美吉野園自動火災報知設備及び防排煙設備	1 式	10,953,800 円
美吉野園非常放送設備	1 式	10,305,900 円
合計		21,640,300 円

（大淀園）

内容	数量	費用
大淀園自家発電機更新工事	1 式	5,940,000 円
合計		5,940,000 円

(5) 美吉野園老人寮浴室改修工事

経年劣化に伴い浴槽からの漏水が見られるとともに、ご利用者における入浴へのニーズにも対応し、安心・安全に入浴していただける環境を整えるとともに、職員の負担軽減にもつなげる。

内容	数量	費用
美吉野園老人寮女性浴槽改修工事	1 式	3,850,000 円
美吉野園老人寮男性浴槽改修工事	1 式	3,850,000 円
合計		7,700,000 円

(6) 美吉野園老人寮食堂洗面所改修工事

食堂洗面所において、車椅子を利用されるご利用者が増えたこと等により、より快適に洗面所を活用していただける環境を整える。

内容	数量	費用
食堂洗面所改修工事	1 式	990,000 円
合計		990,000 円

(7) 吉野学園エコ給湯設備機器取替

経年劣化に伴い不具合が生じた為入替をすすめる。ご利用者が安心して生活していただける環境を整える。

内容	数量	費用
業務用エコ給湯器取替	1 式	15,000,000 円
合計		15,000,000 円

#### (8) 大淀園ストレッチャー浴槽入替

経年劣化に伴い入替をすすめる。ご利用者に安心・安全に入浴していただける環境を整えるとともに、職員の負担軽減にもつなげる。

内容	数量	費用
ストレッチャー浴槽入替	1 式	15,147,000 円
合計		15,147,000 円

#### (9) ICT化への取組み

生産性の向上を目指し、ICTを活用し実用化をすすめている。科学的介護の実現へと取組みを進めるために今年度においてもICT化を進めていく。

内容	数量	費用
美吉野園特養寮見守り機器	1 式	195,800 円
合計		195,800 円

#### (10) 新型コロナウイルス感染症等対策衛生物品の準備

新型コロナウイルス感染症等に対する備えとして、継続し法人本部において、マスク・消毒液・使い捨て手袋等を確保する。また、各衛生物品の流通状況を確認し、確保が困難と思われる物品は期間を長く設定し確保に努める。

内容	想定確保期間	確保量	保管場所
サージカルマスク	1 か月	5,000 枚	倉庫、防災倉庫
N95 マスク	1 か月	1,000 枚	倉庫
使い捨て予防着	1 か月	3,000 枚	倉庫
使い捨て手袋	1 か月	125,000 枚	倉庫、防災倉庫
ヒビスコール	1 か月	50×25 本	倉庫
ヘアキャップ	1 か月	3,000 枚	倉庫

#### (11) 新型コロナウイルス感染症等対策備蓄衛生物品の管理（奈良県備蓄拠点施設）

奈良県より委託された新型コロナウイルス対策衛生物品備蓄拠点の一つとして、マスク・手袋・防護服等を美吉野園本館倉庫にて保管する。定期的に在庫を確認し、管理を行う。奈良県より依頼がある場合、物品搬出等の対応を適切に行う。

内容	ケース	箱入数	合計数	保管場所
ガウン（不織布）	7 箱	100	700 枚	倉庫
ガウン（プラスチック）	8 箱	160	1,280 枚	倉庫
防護服	8 箱	40	320 枚	倉庫

内容	ケース	箱入数	合計数	保管場所
フェイスシールド(A)	4箱	500	2,000枚	倉庫
フェイスシールド(B)	1箱	200	200枚	倉庫
ゴーグル(A)	32箱	10	320枚	倉庫
ゴーグル(B)	2箱	200	400枚	倉庫
手袋	43箱	1,000	43,000枚	倉庫
マスク(N95)	20箱	20	400枚	倉庫
プリコーションセット(M) ※ガウン・フェイスシールド・N95マスク 手袋・ヘアキャップ	1箱	30	30セット	倉庫
プリコーションセット(L) ※ガウン・フェイスシールド・N95マスク 手袋・ヘアキャップ	1箱	30	30セット	倉庫
プリコーションセット ※ガウン・フェイスシールド・N95マスク 手袋・ヘアキャップ	35箱	10	350セット	倉庫

## 【事業の部】

### 1. 法人の部 事務管理

#### (1) 給与

令和5年度も昨年度より導入した、新たな等級制度、人事考課制度の改正に基づき、賃金・賞与を支給する。職員の採用・定着化戦略として職員の定着促進を促し、職員にとって努力が報われる制度を実現する。また、法人の業績を踏まえ、職員個人の役割や責任及び人事考課にて定期昇給を実施する。

#### (2) サービス利用に関するアンケートの実施

年1回(9月) ご利用者・ご家族へ「ご利用者満足度アンケート調査」を実施する。ご利用者・ご家族の意見をより良いサービス提供につなげ、マネジメントサイクル(PDCAサイクル)を確立し、サービスの質の向上を図る。

(3) 監査（内部監査、外部監査）及び審査

[内部監査]

◇ 年2回（9月・3月）実施

[外部監査]

◇ 会計監査（監査法人：清友監査法人による）

実施月	監査内容	監査人(予定人数)
令和5年4月3日	会計監査（各施設実査）	公認会計士 1名
令和5年5月9日	会計監査（期末取引記録）	公認会計士 4名
令和5年5月10日	会計監査（期末取引記録）	公認会計士 4名
令和5年5月16日	会計監査（表示チェック、結果報告）	公認会計士 4名
令和5年11月（予定）	会計監査（内部統制の整備状況）	公認会計士 4名
令和5年11月（予定）	会計監査（内部統制の運用状況）	公認会計士 4名
令和6年3月（予定）	会計監査（期中取引記録）	公認会計士 4名
令和6年3月（予定）	会計監査（期中取引記録）	公認会計士 4名

◇ 監事監査（令和5年5月）

◇ 奈良県指導監査（奈良県福祉医療部 監査指導室による）

◇ ISO再認証審査：BSI グループジャパン（株）

令和5年4月12日～14日組織のマネジメントシステムが継続的に規格要求事項に適合し、該当する法的要求事項を満足するためのマネジメントシステムの能力を維持していること、及び特定した目的達成に関するマネジメントシステムの有効性が維持されているか検証される。

◇ 「奈良県福祉・介護事業所認証制度」認証審査（更新）

（奈良県福祉医療部 長寿・福祉人材確保対策課に提出）

実施月	監査内容	対象施設
令和8年3月	認証評価項目 6分野について書類審査、現地審査を実施。 （①研修体制・人材育成方針 ②キャリアパス・給与体系 ③休暇制度・福利厚生 ④コンプライアンス ⑤地域貢献 ⑥サービスの質の向上）	全施設

(4) 会議、委員会

法人内における各会議、委員会を別紙のとおり行なう。 【別紙① P.53～55 参照】

(5) 研修

多様化する社会のニーズに対応出来る職員の向上を図ると共に豊かな人間性を持った福祉職員を育成する為に計画的に職場研修推進委員会が中心となって研修を行う。

① 法人研修

【別紙② P.56 参照】

② 施設内研修、施設外研修

【別紙② P.57～61 参照】

## (6) 広報・地域における公益的な活動等

### ① 広報活動

美吉野園の魅力をより多くの方々へ発信する。

- ・美吉野園広報誌「さくら」を年4回発刊し大淀町の地域へ配布。
- ・ソーシャルメディア（法人ホームページ、Instagram等）で各種行事等を投稿発信。

### ② 地域における公益的な活動・地域貢献活動

「地域から信頼・信用される施設」を目指し、「地域共生社会」の実現に向け、福祉サービスのノウハウや経験、専門人材や施設・設備をより多くの地域の方に提供し、社会福祉のセーフティーネットとしての役割を認識し、制度の狭間にある福祉ニーズに対応できる取組みを行う。

#### ア. 地域における公益的な活動（地域共生社会の実現に向けた取組み）

- ・ 出前講座「げんき塾」の開催  
（地域に出向き、ニーズに応じた内容：介護について、認知症について、障害について、制度について、脳トレ、腰痛体操、筋力維持トレーニング、悩み相談、健康相談等）
- ・ 「大淀町元気な地域づくり推進協議会 げんきかふえ」への参画
- ・ 「災害時における一時避難所」協定書締結（大淀町西町六丁目区）
- ・ 「災害時における福祉避難所」協定書締結（大淀町）
- ・ 「災害時における物資の供給」協定書締結（大淀町）
- ・ 防災用品等（段ボール製簡易ベッド）の備蓄
- ・ 災害備蓄品の管理（地域の方用：5日分）
- ・ 奈良県災害派遣福祉チーム（D-WAT）・大淀D-WATへの参画
- ・ 奈良県社会福祉法人共同事業まほろば幸いネットへの参画
- ・ 認知症キャラバンメイト養成研修、周知活動への参画
- ・ 介護保険サービスに係る利用者負担額軽減措置事業
- ・ 「生活困窮者就労訓練事業認定事業所」としての活動
- ・ 南和圏域の地域生活拠点に参画
- ・ 奈良県福祉・介護のお仕事PR隊への参画
- ・ 認知症カフェ『やすらぎカフェ』開催
- ・ わーくさぽーと Pono マルシェの開催

#### イ. 地域貢献活動

- ・ 地域清掃、子ども見守り活動の実施（年3回）
- ・ 交差点見守り活動の実施
- ・ 交通安全啓発活動の実施
- ・ 無事故・無違反チャレンジ123参加
- ・ 献血の実施（年2回）

【別紙③ P.62～63 参照】

#### ウ. SDGs の取組み

- ・ 特養寮 光熱水費や必要物品使用量を前年度以下にする。

- ・わーくさぼーと Pono コピー用紙の使用削減に取り組む。
- ・栄養課 食品ロス 残食量の把握を行う。
- ・本部 ペーパーレス化によるコスト削減。ゴミ袋の使用枚数、茶殻再利用。

## (7) 安全衛生

### ①職員の健康管理

- ア. 健康診断 年2回(5月・12月)(財)奈良県健康づくり財団による
- イ. 特定健康診査実施 診査結果で生活習慣病の危険が見つかった方には、特定保健指導
- ウ. 腰痛予防対策 衛生管理者並びに外部講師(理学療法士、健康運動指導士)による腰痛予防対策指針に基づく年1回の腰痛予防研修の実施。また、「介護用移乗機器」を活用し、介護職員の腰への負担軽減を図り、労働環境の改善に繋げる
- エ. メンタルヘルス対策 衛生管理者並びに外部講師(臨床心理士)による年1回のメンタルヘルス研修の実施  
年1回 ストレスチェック(義務化)の実施並びに検査結果を集团的に分析及び産業医による心の相談窓口の設置

【別紙④ P.63 参照】

- オ. 心の健康づくりの「長期目標・年次目標」の設定

### ②労働衛生管理

- ア. 産業医による労働衛生管理体制の整備。月1回以上職場巡視。
- イ. 衛生管理者による労働衛生管理体制の整備。週1回職場巡視。
- ウ. 施設栄養士の検便毎月1回実施(病原性大腸菌を含む)  
内夏季(6~9月)月2回実施(病原性大腸菌を含む)  
施設栄養士(必要に応じノロウイルス抗菌検査実施)
- エ. 委託給食担当者の検便毎月1回実施(病原性大腸菌含む)  
内夏季(5~10月)月2回実施(病原性大腸菌を含む)
- オ. わーくさぼーと Pono 自主生産事業担当者の検便毎月1回実施(病原性大腸菌含む)
- カ. 施設内感染症防止対策の強化(手洗い・消毒、咳エチケットの徹底を図る)並びに蔓延防止の呼びかけの実施
- キ. 予防接種(インフルエンザワクチン・新型コロナウイルス感染症)の実施
- ク. 新型コロナウイルス感染症検査の実施

## (8) 介護職員初任者研修の実施

福祉施設の担い手を自ら養成するため、法人の設備や人材を活用し施設や居宅の介護を支える介護職員の養成研修を年1回行う。 ‹ 令和5年7月開講予定 ›

- |                          |
|--------------------------|
| * 募集期間 令和5年5月1日~6月22日 予定 |
| * 開講期間 令和5年7月1日~9月30日 予定 |

【別紙⑤ P.64 参照】

# [ 資金収支予算計画 ]

平成28年度より会計監査人設置。内部統制を前提として財務状態、経営成績及びキャッシュフローの状況全て重要な点においての監査を実施し、今後もマネジメントサイクル(PDCAサイクル)を実行しながら常に先を見た経営を図る。  
 会計業務をアウトソーシング(外部委託)することにより、専門的な知識、ノウハウを有効活用し精査することで、質の向上を図り、信頼性を高める。  
 経営管理下においては、大規模修繕等将来のリスクに対する資金計画を立て「建物建替計画」「美吉野園建物等維持保全計画」に基づき、継続性・計画性の両方が備わった安定した経営を図り、消費量においてエコロジー活動に努める。【別紙⑦P.75～79参照】

## 1. 令和5年度 資金収支予算書

(自)令和5年4月1日 (至)令和6年3月31日  
 単位:千円

勘定科目	本年度予算額	前年度予算額	比較増減	本年度拠点別予算額内訳							備考
				本部拠点区分	老人寮拠点区分	特養寮拠点区分	吉野学園拠点区分	わーくさぼーとPono(吉野学園拠点)	大淀園拠点区分	インクループケアセンター拠点区分	
収入											
事業活動収入計(1)	2,218,041	2,232,678	△ 14,637	3,035	248,930	904,919	265,573	108,334	585,382	101,868	介護保険事業収入 障害福祉サービス等事業収入 老人福祉事業収入 就労支援事業収入等
支出											
事業活動支出計(2)	2,174,050	2,153,375	20,675	15,720	259,578	872,360	253,009	106,233	572,511	94,639	人件費支出 事業費支出 事務費支出等
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	43,991	79,303	△ 35,312	△ 12,685	△ 10,648	32,559	12,564	2,101	12,871	7,229	
収入											
施設整備等収入計(4)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
支出											
施設整備等支出計(5)	72,174	60,151	12,023	0	8,709	20,617	18,181	192	24,321	154	固定資産取得支出 ファイナンス債務の返済支出
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	△ 72,174	△ 60,151	△ 12,023	0	△ 8,709	△ 20,617	△ 18,181	△ 192	△ 24,321	△ 154	
収入											
その他の活動収入計(7)	81,934	46,018	35,916	13,751	15,403	13,936	17,757	0	21,087	0	積立資産取崩収入 (老人寮・特養寮・大淀園) 拠点区分間繰入金収入
支出											
その他の活動支出計(8)	38,750	33,768	4,982	0	0	23,113	10,330	2	5,304	1	積立資産支出 拠点区分間繰入金支出
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	43,184	12,250	30,934	13,751	15,403	△ 9,177	7,427	△ 2	15,783	△ 1	
予備費(10)	18,881	34,996	△ 16,115	1,066	2,000	2,765	1,810	1,907	4,333	5,000	
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	△ 3,879	△ 3,594	△ 285	0	△ 5,954	0	0	0	0	2,074	
前期末支払資金残高(12)	823,161	778,094	45,067	53,110	55,069	289,343	122,035	10,240	228,644	64,720	
当期末支払資金残高(11)+(12)	819,282	774,500	44,782	53,110	49,115	289,343	122,035	10,240	228,644	66,794	

## 令和5年度 資金収支予算額 施設別状況

単位:万円

